

## ⑥ 吹奏楽アカデミー専攻

### 入学試験科目

#### 1. 外国語

##### 【一般選抜(A日程)】

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）
- (2) 本学が行う試験（英語・60分）
- (3) 資格試験※

※以下のいずれかの資格を利用できる。

詳細は「①一般選抜概要」を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC(アセスメント版を除く)
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®
- ・TOEIC®(L&R/S&W)
- ・TOEIC Bridge®(L&R/S&W)

##### 【一般選抜(B日程)】

調査書の評定を利用する（大学入学共通テスト等は利用しない）。

#### 2. 楽典(50分)

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

#### 3. 選択科目 以下の課題の(A)～(D)より1つを選択する。

##### (A) 新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

##### (B) 簡単な初見演奏

専攻実技時に1-2分間の予見、無伴奏で演奏する。試験順は、専攻実技 → 初見演奏 → 面接および口述試問、となる。

##### (C) 聴音(30分) 旋律聴音(8小節程度)・・・各専攻共通1題および専攻別1題 和音聴音・・・高音部譜表による三和音、4小節程度

[問題例] a moll イ短調  $\frac{2}{2}$  拍子 4小節



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

#### (D) 副科実技 (ピアノ)

※すべて暗譜で演奏すること

- (1) 音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。  
ハノン No. 39、または本学指定の音階楽譜（本学ホームページよりダウンロード）のいずれかを使用すること。ハノン No. 39 の場合は、速度は♩=76 程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を1回弾いた後に続けて旋律的短音階を1回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符=72 程度以上とする。
- (2) 自由曲：ソナチネ、ソナタ・アルバム程度を1曲または1楽章。  
※抜粋の場合は、専攻別曲目記入票に楽章等を明記すること。

#### 4. 面接および口述試問

#### 5. 専攻実技

### 課題曲

#### 吹奏楽アカデミー木管楽器

##### ■フルート

#### (1) 音階および分散和音

次の音型によって音階および分散和音を長調と短調それぞれ1つずつ演奏すること。

調性、スラー等は任意。暗譜。

長調

短調

#### (2) 次の中から任意の一曲を選び演奏すること。

J. Andersen: 24 Studies. [または Etudes.] Op. 21 (J. アンデルセン『24の練習曲』作品 21)より第4番、第10番、第24番

E. Koehler[または Köhler] : 12 Medium Difficult Exercises. Op. 33-2 (E. ケーラー『12の中級練習曲』作品 33の2[または『35の練習曲』作品 33の第2巻])より第5番、第10番、第12番

※ 版の指定なし。暗譜の必要なし。

## ■オーボエ

### (1) 音階

次の A、B いずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は任意。  
短音階は和声的または旋律的を任意選択。暗譜。



### (2) F. W. Ferling : 48 Etudes, Op. 31 (F. W. フェルリンク 『48のエチュード』) より任意の奇数・偶数番号を 1 曲ずつ選択し 2 曲を演奏すること。

※版の指定なし。暗譜の必要なし。

## ■クラリネット

⇒エス・クラリネット～バスクラリネットまでどの特殊管で受験してもよい。

### (1) 音階

R. Eichler : Scales for Clarinet (国立音楽大学出版) より各調の 1 番をスラーで演奏すること。長調と短調をそれぞれ任意で 1 つずつ。暗譜。

### (2) C. Rose : 32 Etudes (C. ローズ 『32のエチュード』) より任意の奇数・偶数番号を 1 曲ずつ選択し 2 曲を演奏すること。

※ (2) は版の指定なし。暗譜の必要なし。

## ■ファゴット

### (1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階を演奏すること。調性、スラー等は任意。暗譜。



### (2) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 (J. ヴァイセンボーン 『50の練習曲』 作品 8 第 2 巻) の Nos. 1-15 より任意の 2 曲。

※版の指定なし。暗譜の必要なし。

## ■サクソフォーン

⇒ ソプラノ、アルト、テナー、バリトンのどの楽器で受験してもよい。

### (1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階をスラーで演奏すること。調性は全調の中から任意。暗譜。繰り返しなし。

音階譜例



### (2) F. W. Ferling : 48 études pour tous les saxophones

(F. W. フェルリンク『サクソフォンのための48の練習曲』[M. ミュールによる増補改訂版]

(A. Leduc)) より任意の奇数番号1曲と任意の偶数番号1曲の計2曲を演奏すること。

※暗譜の必要なし。

## 吹奏楽アカデミー金管楽器

### 金管楽器共通課題 (音階および分散和音)

次の例にしたがって、長音階と短音階(和声的または旋律的)をそれぞれ1つずつ演奏すること。調性、音域は任意。暗譜。



## ■ホルン

### (1) 共通課題 (音階および分散和音)

### (2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Horn (G. コブラッシュ『60のエチュード(ホルン)』) より 任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

## ■トランペット

### (1) 共通課題 (音階および分散和音)

### (2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trumpet (G. コブラッシュ『60のエチュード(トランペット)』) より任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

## ■トロンボーン、バス・トロンボーン

- (1) 共通課題（音階および分散和音）
- (2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone (G. コプラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』)より任意の2曲  
※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。  
※バス・トロンボーンで受験する場合は1オクターヴ下げて演奏してもよい。

## ■チューバ

- (1) 共通課題（音階および分散和音）
- (2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Tuba (G. コプラッシュ『60のエチュード(チューバ)』)より任意の2曲  
※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。  
※使用する楽器の管の種類は問わない。

## ■ユーフォニアム

- (1) 共通課題（音階および分散和音）
- (2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone (G. コプラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』)より任意の2曲  
※版の指定なし。繰り返しなし。暗譜の必要なし。

## 吹奏楽アカデミー打楽器

### (1) 打楽器共通課題

- ①鍵盤打楽器による2オクターヴの長音階と短音階。調性は調号3つまでの調から任意。音型は自由。但し、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。  
※楽器はシロフォン、マリンバ、ヴィブラフォンより選択すること。
- ②小太鼓による2つ打ち（楽器は各自持参のこと）

### (2) 楽器別課題

下記のいずれか1つを選択すること。

#### ■ティンパニ

R. Hochrainer : Etüden für Timpani. Heft 1 (Doblinger Music) の Nos. 8、9、10のうち、任意の2曲  
※暗譜の必要なし。

#### ■小太鼓

W. F. Ludwig : Collection Drum Solos (Ludwig Music) より The Connecticut Halftime  
※暗譜の必要なし。

#### ■鍵盤打楽器

M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の 39 Etudes より V、VII のどちらか1曲  
※(1) ①と同一楽器で演奏すること。  
※暗譜の必要なし。

## 吹奏楽アカデミー弦楽器

### ■コントラバス

#### (1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。暗譜の必要なし。

The image shows three staves of musical notation for a string bass exercise. Each staff begins with a tempo marking of quarter note = 60. The first staff is in C major, the second in C minor, and the third in a key with one flat (F major or D minor). The notation includes various rhythmic patterns, slurs, and dynamic markings like 'p' and 'V'.

#### (2) F. Simandl : 30 Etudes for the String Bass (C. Fischer) より任意の1曲、または任意の自由曲を1曲。

※暗譜の必要なし。

※オーケストラチューニング

※伴奏なし。

### ■ハープ

任意の自由曲1曲

※暗譜の必要なし。

※伴奏なし。